



令和4年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和3年11月10日

上場会社名 パルステック工業株式会社
コード番号 6894
代表者 (役職名)代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長
四半期報告書提出予定日 令和3年11月11日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
URL <https://www.pulstec.co.jp>

(氏名)鈴木 幸博
(氏名)工藤 孝史 (TEL)053-522-5176
配当支払開始予定日 ー

(百万円未満切捨て)

1. 令和4年3月期第2四半期の連結業績(令和3年4月1日～令和3年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
4年3月期第2四半期	1,108	42.2	115	—	130	—	113	—
3年3月期第2四半期	779	△16.4	△23	—	△24	—	△24	—

(注) 包括利益 4年3月期第2四半期 111百万円(—%) 3年3月期第2四半期 △25百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
4年3月期第2四半期	82.61	—
3年3月期第2四半期	△17.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
4年3月期第2四半期	4,120	3,044	73.9
3年3月期	4,001	2,995	74.9

(参考) 自己資本 4年3月期第2四半期 3,044百万円 3年3月期 2,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
3年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
4年3月期	—	0.00	—	—	—
4年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和4年3月期の連結業績予想(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	5.3	181	13.6	196	2.1	151	△3.4	110.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

4年3月期2Q	1,393,459株	3年3月期	1,393,459株
---------	------------	-------	------------

② 期末自己株式数

4年3月期2Q	24,920株	3年3月期	24,876株
---------	---------	-------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

4年3月期2Q	1,368,565株	3年3月期2Q	1,368,583株
---------	------------	---------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めが掛からず、首都圏を中心に発出されていた緊急事態宣言がさらに拡大や延長となるなかで、大規模接種会場の設置や企業の職域接種等の実施により全国規模でワクチン接種が加速し、感染者数も大幅に減少したことから、9月末で緊急事態宣言等は解除されましたが、経済活動の長期停滞による影響は極めて大きく、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、コロナ禍の影響による経済活動縮小の影響に加え、半導体や電子部品の調達難により輸送機器関連業界を中心に生産の縮小を余儀なくされるなど厳しい受注環境となりましたが、新規製品の引合いも徐々に増加しており、緩やかな回復傾向で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、新たな試みとしてウェビナー（WEBセミナー）を開催し新規の顧客開拓に取り組むとともに、WEB会議の開催、ホームページの拡充、インターネットを活用した動画配信を一層強化するなど、受注確保に向けた新たな営業スタイルの確立に注力いたしました。

以上の結果、売上高は11億8百万円（前年同期比42.2%増）、営業利益は1億15百万円（前年同期は23百万円の損失）、経常利益は1億30百万円（前年同期は24百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億13百万円（前年同期は24百万円の損失）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

（X線残留応力測定装置関連）

コロナ禍の影響により、従来の展示会や学会等による営業活動が困難となっていたため、WEBによる展示会への出展、SNSによる情報発信、WEB会議の開催などをさらに強化するとともに、新たな試みとしてウェビナーを開催したところ当初の予想を上回る反響が得られるなど、既存顧客や潜在顧客へのインターネットを活用したアプローチを積極的に展開いたしました結果、売上高は2億56百万円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益は78百万円（前年同期比134.1%増）となりました。

（ヘルスケア装置関連）

新たな受託開発・試作・量産等の引合いは引き続き好調に推移するとともに、受注済み装置の生産性向上に伴い利益率も大幅に改善したことから、売上高は5億30百万円（前年同期比94.2%増）、セグメント利益は1億円（前年同期は5百万円の損失）となりました。

（光応用・特殊機器装置関連）

顧客都合による生産計画の変更や仕様検討の長期化に伴う受注時期の先送り、生産調整による出荷台数減少等の影響を受けましたが、個別案件の引合いが好調であったことから、売上高は3億21百万円（前年同期比15.0%増）、セグメント利益は83百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて1億18百万円増加し、41億20百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1億94百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が73百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて69百万円増加し、10億75百万円となりました。これは主に、賞与引当金が39百万円、未払法人税等が35百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて49百万円増加し、30億44百万円となりました。これは主に、利益剰余金が51百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて1億94百万円増加し、18億70百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況につきましては、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、2億94百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益の計上1億30百万円、売上債権の減少74百万円であり、主な減少要因は、仕入債務の減少24百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、36百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出36百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、66百万円となりました。

主な減少要因は、配当金の支払額61百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和4年3月期の連結業績予想につきましては、令和3年5月12日付の決算短信で公表いたしました通期の業績予想のとおりであり変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和3年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,675,979	1,870,735
受取手形及び売掛金	610,956	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	537,725
仕掛品	485,858	511,936
原材料及び貯蔵品	114,708	81,490
その他	28,592	17,062
流動資産合計	2,916,096	3,018,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	247,711	253,269
その他(純額)	305,519	306,668
有形固定資産合計	553,230	559,937
無形固定資産		
投資その他の資産	32,516	27,324
投資その他の資産		
投資その他の資産	505,304	518,895
貸倒引当金	△5,800	△4,800
投資その他の資産合計	499,504	514,095
固定資産合計	1,085,251	1,101,357
資産合計	4,001,347	4,120,307
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	210,399	185,496
1年内返済予定の長期借入金	10,320	21,128
未払法人税等	7,619	43,410
賞与引当金	28,995	68,848
その他	128,844	145,621
流動負債合計	386,178	464,505
固定負債		
長期借入金	174,700	158,732
退職給付に係る負債	445,426	452,504
固定負債合計	620,126	611,236
負債合計	1,006,305	1,075,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	731,054	782,521
自己株式	△165,878	△165,951
株主資本合計	2,986,347	3,037,740
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,912	6,462
為替換算調整勘定	△218	362
その他の包括利益累計額合計	8,694	6,825
純資産合計	2,995,042	3,044,566
負債純資産合計	4,001,347	4,120,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
売上高	779,302	1,108,350
売上原価	498,506	720,310
売上総利益	280,795	388,039
販売費及び一般管理費	303,879	272,063
営業利益又は営業損失(△)	△23,084	115,976
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,008	1,692
為替差益	-	3,688
売電収入	6,977	6,532
助成金収入	1,215	3,868
貸倒引当金戻入額	1,000	1,000
その他	410	1,613
営業外収益合計	11,611	18,395
営業外費用		
支払利息	376	258
為替差損	9,275	-
売電費用	3,828	3,563
営業外費用合計	13,481	3,821
経常利益又は経常損失(△)	△24,954	130,549
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,954	130,549
法人税等	△511	17,496
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,442	113,052
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,442	113,052

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△24,442	113,052
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188	△2,449
為替換算調整勘定	△1,364	580
その他の包括利益合計	△1,553	△1,869
四半期包括利益	△25,996	111,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△25,996	111,183
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△24,954	130,549
減価償却費	37,967	34,699
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,000	△1,000
受取利息及び受取配当金	△2,008	△1,692
支払利息	376	258
為替差損益(△は益)	8,380	△3,464
有形固定資産除却損	0	0
売上債権の増減額(△は増加)	535,843	74,550
棚卸資産の増減額(△は増加)	△110,917	7,151
仕入債務の増減額(△は減少)	4,910	△24,498
賞与引当金の増減額(△は減少)	△27,975	39,844
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,549	7,077
その他	△9,417	30,227
小計	426,755	293,702
利息及び配当金の受取額	2,161	1,736
利息の支払額	△685	△360
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	10,147	△338
営業活動によるキャッシュ・フロー	438,378	294,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,021	△36,904
その他	100	101
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,921	△36,803
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	140,000	-
長期借入金の返済による支出	△5,160	△5,160
自己株式の取得による支出	-	△73
配当金の支払額	△73,933	△61,199
財務活動によるキャッシュ・フロー	60,906	△66,433
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,871	3,251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	471,492	194,755
現金及び現金同等物の期首残高	998,901	1,675,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,470,393	1,870,735

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 令和元年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 令和元年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 令和2年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-4項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 令和2年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
外部顧客への売上高	226,807	272,980	279,514	779,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	226,807	272,980	279,514	779,302
セグメント利益又は損失(△)	33,429	△5,328	78,428	106,528

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	106,528
全社費用(注)	△137,617
棚卸資産の調整額	8,004
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△23,084

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	256,838	530,062	254,587	1,041,488
一定の期間にわたり移転されるサービス	—	—	66,861	66,861
顧客との契約から生じる収益	256,838	530,062	321,449	1,108,350
外部顧客への売上高	256,838	530,062	321,449	1,108,350
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	256,838	530,062	321,449	1,108,350
セグメント利益	78,257	100,401	83,821	262,480

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	262,480
全社費用(注)	△142,455
棚卸資産の調整額	△4,049
四半期連結損益計算書の営業利益	115,976

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	211,091	97.4
ヘルスケア装置関連	640,734	204.3
光応用・特殊機器装置関連	294,761	76.4
合計	1,146,587	125.1

(注) 生産高は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	392,753	152.5	222,918	179.3
ヘルスケア装置関連	1,124,328	101.5	1,670,497	130.1
光応用・特殊機器装置関連	345,333	108.8	331,009	50.1
合計	1,862,415	110.7	2,224,425	107.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	256,838	113.2
ヘルスケア装置関連	530,062	194.2
光応用・特殊機器装置関連	321,449	115.0
合計	1,108,350	142.2

(注) 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

なお、総販売実績に対する当該割合が100分の10未満である販売実績につきましては、記載を省略しております。

相手先	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年4月1日 至 令和3年9月30日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東洋紡株式会社	189,369	24.3	349,056	31.5
株式会社日立ハイテク	152,252	19.5	134,587	12.1